



令和4年6月10日
令和4年度学校だより NO.12①
加古川市立平荘小学校

高学年集会をしました

6月8日(水)の1校時に、児童会主催の高学年集会を行いました。

児童会が、本校の創立130周年に向けて、そして、その先にある閉校に向けて、『両荘みらいプロジェクト』を立ち上げました。そして、その第1歩として、本校の校歌と校章について説明をしてほしいと、校長に依頼をしてきました。

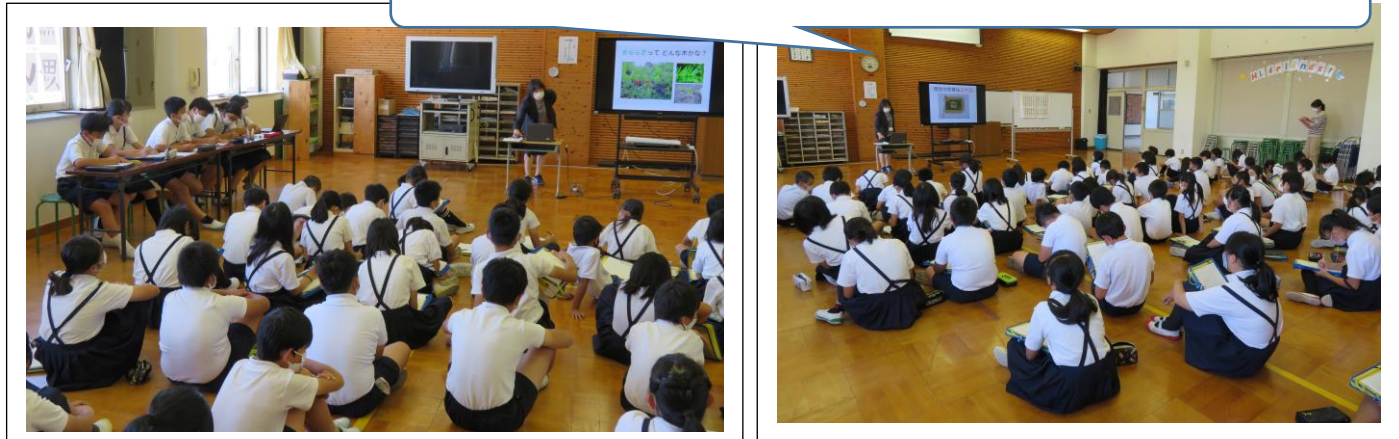
以下、高学年集会の様子です。

今から100年前の日本の様子です。

校長先生から校歌と校章のお話を伺います。



子どもたちは、とても熱心に校歌と校章についての話を聞いていました。



パワーポイントを使って子どもたちに伝えました



加古川市立平荘小学校

平荘小学校 創立130周年 お誕生日おめでとう

平荘小学校のお誕生日は？
明治26年(1893年)
11月22日
今年で**130才**です！

校歌の1番



《めざす子ども像》
●思いやりのある子
●たくましい子

自然豊かな平の里の、私たちが集まる学校は、『強い心』と『体』を磨き鍛えるところ(庭)なんだ。

如古の流氷の水澄み
あつく木繁げら宮じや
黄金波うつ平の里
つどう秋のれ学舎は
強き心と身体とば
磨き鍛えん庭なるぞ

水・森・田をはじめ**全てが最上級の平の里**。そこにある学び舎に集う私たちは、『強い心と体』を磨き鍛えます。

現在の校章は三代目



校章は本校の象徴

①尋常小学校

明治35年(1902年)～



②国民学校

昭和16年(1941年)～



③現在の校章

昭和32年(1957年)に作られたもの
※新しい時代にふさわしい校章を地域の方々
から募集し、それを参考にしながら最終的に
園工の先生が製作



校歌の2番

春夏秋冬、四季折々に見る美しい景色。その素晴らしい環境の下、誘惑に負けず、自分の志や夢を実現するために努力をし続け、学業(勉強)に励んで、**やがて築こうみんなが幸せに生きることができる社会を!**

《めざす子ども像》
●よく考える子



二桜花さく春がすみ
もみぢ散りゆく秋の香も
都の手振りよそに見て
道を求めておゆみなく
学びの業に励みつ、
やがて築かん理想郷



※黄色地のところは、私見です。

現在の校章の 意味するところ



●「校歌」にうたわれている「平の里」に黄金色に実る**稲穂が小学校を取り囲むようにデザイン**されている。
●稲穂の穂の数の**13**個は、平荘町に**13の町内会**があることを表している。
●**地域・家庭・学校の三者が協力してたくましい平荘っ子を育てていこう**という気持ちが示されている。

子どもたちは、 地域の宝です!

平荘小学校は、地域に温かく支えられた学校です。

校歌に込められた願いや校章の意味するところを考えた時、平荘町にある平荘小学校の魅力を発見できます。